愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	インターネット社会論		
担当者(Instructors)	宮城 エステバン	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
			実務家教員科目(Pro teacher course)

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

インターネットは社会現象を起こした。インターネットのビジネスを理解する為に、インターネットの歴史・技術の進化・利点と欠点を分析します。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	講義形式 １。プレゼンテーション （スライド、動画、ケーススタディーなどを用いる） 講義形式 ２。実社会の事例
当該科目と実務との関係(Relationship between cource and practice)	IT外資系企業・日系企業での２7年以上実務経験をもとに本講義ではその経験に基づき、授業を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション	学期を通じた学習の概略と目的を理解する。注意事項。自己紹介。	□
第2回	インターネットとは？　インターネットの前はどんな通信世界だった？　インターネットと軍・大学の関係	インターネットの仕組み（技術・ビジネス・社会現象・歴史）を理解する	□
第3回	インターネットビジネスの誕生（会社の上場・次々億万長者の誕生	小テスト。インターネットビジネスの仕組みを理解する	□
第4回	ネットワーク・コンピュータ・ソフトウェアの進化・WWWの誕生。グループディスカッション・ディベート	小テスト。インターネットビジネスの仕組みを理解する	□
第5回	ハッカーの誕生：情報セキュリティー	小テスト。情報セキュリティーを理解する	□
第6回	ダークウェブ(Dark web)の誕生	小テスト。ダークウェブ(Dark web)を理解する	□
第7回	中期レビュー	これまでの講義内容を総括する	□
第8回	IoT ： 全てが繋がっています。つながっている社会：家電・街・車・家電	小テスト。IoTを理解する	□
第9回	ベンチャー企業のチャレンジ 。グループディスカッション・ディベート	小テスト。インターネットベンチャー企業のビジネスを理解する	□
第10回	インターネットのダークビジネス：ギャンブル・アダルト・違法グッズ。グループディスカッション・ディベート	小テスト。インターネットのダークビジネスを理解する	□
第11回	インターネットとAI	小テスト。AIを理解する	□
第12回	インターネットの未来	小テスト。インターネットの未来を理解する	□
第13回	SNS・アプリ市場の分析	小テスト。SNS・アプリ市場の分析を理解する	□
第14回	世界各国のインターネット	小テスト。世界各国のインターネットを理解する	□
第15回	まとめ	これまでの講義内容を総括する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に講義で学習するテーマおよび内容を確認しておく。事後は、配布資料や講義で学んだ内容を振り返り復習をしておく（毎週４時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回のミニレポート・感想文・小テストの内容を評価します。剽窃の確認を行いますので引用・参考文献をすべての課題は、適切に参考文献されなければならない。講義内容についての質問はメールにて受付ます。また公開されたオフィスアワー内であれば、アポイントを取り付けた上で、面談も可能です。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019全学共通DP1	インターネットの歴史・技術の仕組みを理解して説明ができる。 インターネットビジネスの仕組みを理解して説明ができる。 インターネットビジネスの未来を想像して自分の意見を発信できる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			70%	30%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

授業内試験とは出席点ではありません。課題の提出状況とその内容、講義テーマの理解度によって評価を行います。本講義の出席は、各回の課題提出の期日順守をもって認定されます。出席点は総評点の30%です。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	ありません。スライドと配布資料を用意します。	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	平成ネット史 永遠のベータ版 単行本 - 2021/4/21NHK『平成ネット史(仮)』取材班	
2		
3		
4		
5		